

平成19年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
法	前期1名、 後期1名 の2名以内	教授	眞鍋俊二	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 本学(総合図書館、個人研究室) 2 東京大学 3 琉球大学 4 外交資料館	これまで、長期間に渡って研究を進めてきた「現代アメリカ外交」に関する研究成果を総括し、単行書として出版する。また、近年研究を進めている「幕末明治維新期の政治家」についての論文を執筆する。
文	前期2名、後期1名 または、 前期1名、後期2名 の3名以内	教授	坂本武	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 本学(総合図書館、個人研究室) 2 国立国会図書館 関西館	ローレンス・スターン、オリバー・ゴルドスミス等の18世紀イギリス小説家の研究を行う。また、18世紀イギリスの知的女性たちのグループ「ブルーストッキングの女性たち」の研究について、研究書を刊行する準備を行う。加えて、関西大学ジェイン・オースティン研究会による『エマ』第2巻全18章の注釈を作成する。
		教授	野村幸正	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 国際高等研究所 2 東京大学 3 ブーナ大学(インド)	80年代から研究を進めてきた熟達化を構成する身体知、暗黙知について、国際高等研究所において人間の知の特性を生かした熟達化マシン、人工知能の研究を深める。また、東京大学の佐々木研究室において人間の知を生態心理学の視点から捉え直し、さらには、ブーナ大学で人間の知に関する資料収集を行う。以上の研究成果を公表する。
		教授	山本幾生	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 本学(総合図書館、個人研究室) 2 慶応義塾大学文学部教育学研究室 3 日本大学文理学部哲学研究室 4 ルール大学ヘーゲル研究所(ドイツ) 5 マイツ大学ショッパリアー研究所(ドイツ)	西洋哲学における実在性概念及び無と意思の否定について、ディルタイ、エックハルト等に即して文献学的研究を進める。また、実在性の問題から今日のVRにおける技術的・文化的研究への広がりを考察する。 上記における文献資料等の収集、研究者との意見交換を行い、それらの成果を公表する。
経	前期1名、 後期1名 の2名以内	教授	大塚忠	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 本学(個人研究室) 2 自宅 3 ゲッチンゲン大学(ドイツ) 4 名古屋大学 5 慶應義塾大学	これまでに日本とドイツにおける労使関係の比較を自動車工業の生産システムの相違の視点から研究してきた。これに関連して、労使関係の相違に大きな影響を及ぼす職業訓練と学校教育の関連について、日本国内及びドイツにおいて資料収集を行い、研究を進める。
		教授	小池渺	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 本学(総合図書館、個人研究室) 2 関西学院大学図書館 3 慶應義塾大学図書館 4 国立国会図書館 5 ヴェッパ町立図書館(イタリア) 6 ジョネーブ大学公共図書館(スイス)	リチャード・ベラミー/ダロー・シェクター『グラムシとイタリア国家』の共訳を完了させる。同時に、シスモンディの文献遺産に関する調査研究を集大成し、近い将来の自著の粗稿を作成する。

平成19年度 関西大学 研修員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
商	前期1名、 後期1名 の2名以内	教授	岩佐代市	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 本学(個人研究室) 2 自宅	既刊著書以降の研究、特に支払決済システムの構造的変化とその含意についての研究を総括し、出版原稿を整理する。今後の研究課題、地方経済と地域金融機関のあり方について、資料を収集し、研究の方向性を定める。
		教授	中嶋道靖	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 自宅 2 本学(個人研究室)	これまで研究を重ねてきた環境管理会計、特にマテリアルフローコスト会計の調査(工場及び本社への実態調査)を集中的に取り纏める。また、今後の研究調査プランを組み立てる。
社	前期1名、 後期1名 の2名以内	教授	岩見和彦	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 自宅 2 本学	これまでの研究成果を、<社会化>研究の視点から吟味しなおし、「青年社会学」に関する先行研究、直近の研究動向を精査することを主眼にした研究課題に取り組むため、文献レビュー、原稿を執筆する。
		教授	吉岡至	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 自宅 2 本学 3 沖縄国際大学 4 マスメディア機関等	日本国内を中心とするニュース流通をグローバル・ナショナル・ローカルの視点から考察し、今後のニュースメディアのあり方を検討する。
総情	前期1名、 後期1名 の2名以内	助教授	古賀広志	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 中央大学商学部、商学研究科 2 甲南大学経済学部、経済学研究科 3 神戸大学大学院経営学研究科 4 本学(個人研究室)	近年注目を浴びているナレッジマネジメントに対して、これまで研究を重ねてきた「状況的認知」と「社会構築主義」という視点からの考察を集大成し、経営組織における情報技術の活用の新しい視点を提唱したい。
		教授	江澤義典	H19.10.1 ～ H20.3.31	1 本学(個人研究室、ITセンター、 総合図書館) 2 自宅	コンピュータ科学、特に人工知能及び情報倫理に関連した分野の研究を深める。それぞれ、関連分野の研究者等と活発な意見交換を行い、知見を深める。
外	前期1名または、 後期1名 の1名以内	教授	杉谷真佐子	H19.4.1 ～ H19.9.30	1 本学(総合図書館)、国立教育政策研究所、自宅 2 学校教育研究所、プラウシュヴァイク国際教科書研究所、ホーラム大学(ドイツ) 3 欧州評議会、ウィーン大学(オーストリア)	異文化コミュニケーション能力の育成問題を「外国語教育政策」の観点から捉え、ドイツでの言語教育科目のカリキュラム策定をめぐる議論の変遷、ドイツ及び近隣諸国での「教育におけるヨーロッパの次元」への対応と二言語教育、欧州言語ポートフォリオの開発等に関連して「コミュニケーション能力育成」のコンセプトを再検討する。